



ボ ー ダ レ ス ・ ド ボ ー ダ レ ス ・ ド ボ ー ダ レ ス ・ ド

私
た
ち
は
何
者
？



BORDERLESS DOLLS

2023
前期 7.1 SAT > 7.30 SUN
後期 8.1 TUE > 8.27 SUN

*会期中、一部展示替えがあります



The Infinite World of Japanese Dolls: From Religious Icons to Works of Art

- 開館時間：午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）*毎週金曜日は午後8時まで（入館は午後7時30分まで） ● 休館日：月曜日（7月17日は開館）、7月18日（火）
- 入館料：一般1000円（800円）、大学生800円（640円）、高校生・60歳以上500円（400円）、小中学生100円（80円）
- *（ ）内は団体10名以上および渋谷区民の入館料 *土・日曜日、祝・休日および夏休み期間は小中学生無料 *毎週金曜日は渋谷区民無料 *障がい者および付き添いの方1名は無料
- [リピーター割引] 観覧日翌日以降の本展会期中、有料の入館券の半券と引き換えに、通常料金から2割引でご入館できます。
- 主催：渋谷区立松濤美術館 ● 協力：一般財団法人日本玩具文化財団、横浜人形の家
- *会期や開館時間、イベント等変更する場合があります。最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。
- *本展覧会の出陣作品には、18歳未満の方（高校生を含む）がご覧になれない作品が一部含まれます。あらかじめご注意くださいようお願い申し上げます。

渋谷区立 松濤美術館
THE SHOTO MUSEUM OF ART
〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL 03-3465-9421
<https://shoto-museum.jp>

私たちは何者？

ポードレス・ドールズ

The Infinite World of Japanese Dolls: From Religious Icons to Works of Art



1



2



3



4



5



6

武器として生きながらえてきた唯一無二の造形物が人形といえるでしょう。



7

日本の人形といったら、みなさんは何を思いおこすでしょうか。お雛様？呪い人形？それともフィギュアでしようか？はたまた、生人形や蠟人形、マネキンも、日本の人形を語る上で欠かせないものでしょう。

このように日本の人形は、もはや、体系化することが難しいほどに多様な種類があふれているのです。そして、日本の人形の歴史を振り返れば、民俗、考古、工芸、彫刻、玩具、現代美術と、実にさまざまなジャンルのポードアラインを縦横無尽に飛び越えながらあり続



8

の根底に脈々と流れてきた精神を問うものです。

何かに縛られることなく軽やかに境界を越えていく日本の人形は、普段、私たちが囚われている「美術」、あるいは「芸術」という概念にさえ揺さぶりをかけます。私たちは一体何を「芸術」とし、何を「芸術」ではないとしているのか。それは果たして正しいのか。人形をとおり「芸術」そのものを考える機会となるでしょう。



9

- 1 松本喜三郎「兼浅鳴尊」1875年 桐生市本町四丁目自治会蔵【前期展示】
 - 2 川路農美生産組合「伊那踊形」1900〜30年代 上田市立美術館蔵 撮影：齋藤伸一郎
 - 3 《人形代》平安京跡出土 平安時代前期 京都市指定文化財 京都市蔵
 - 4 《立雛》次郎左衛門頭「江戸時代」18〜19世紀 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives【後期展示】
 - 5 向井良吉(SA-10)1952年 株式会社七彩蔵 ©MASAYUKIYASHI
 - 6 安本龜八(三代)生人形 徳川時代花見上臈 明治時代 20世紀 東京国立博物館蔵 Image: TNM Image Archives
 - 7 小島与一「三人舞妓」1924年 マリヒ二隻眼蔵 撮影：山田満穂
 - 8 BOME《リベラ・ファンタジー》2004年 出典：BOME・ドールズ 海峽蔵 ©KAYODO Mizutama Keinojo
 - 9 Wonder Festival Project Office All Rights Reserved.
- 表右：村上隆《Ko's art》(Project Ko) 1997年 1/5原型制作：BOME(海洋堂) 個人蔵 ©1997 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved.
- 左：《人形代》「男」平安京跡出土 平安時代前期 京都市指定文化財 京都市蔵



10

展示会担当学芸員によるピンポイントトーク

- 7月30日(日) **肉体的リアルは人形のリアルか**
— 生人形、マネキン、現代美術まで
- 8月11日(金・祝) **呪って、守って、愛して♡ 人形は人間？**
— 呪詛人形、お雛様、現代美術まで
- 8月26日(土) **彫刻と人形のただらぬ関係**
各日午後2時〜 約30分間

会場：地下2階ホール *直接会場へお越しください
*各回定員60名(先着順) *無料(要入館料)、予約不要

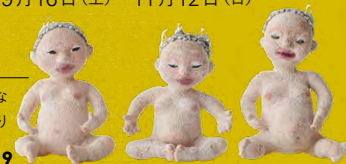
*本展はさまざまな文化財を紹介することを主眼としている展示です。不可解な現象や霊的現象が身の回りに発生しても今回の展示、イベントとは一切関わりがありません。

館内建築ツアー

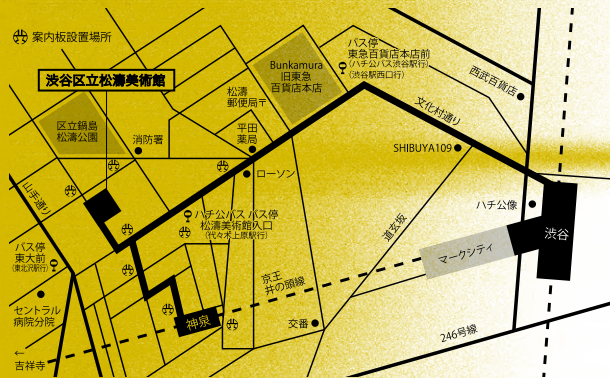
白井晟一設計の美術館建築を職員がご案内します。
7月7日(金)、7月14日(金)、7月21日(金)、7月28日(金)、8月4日(金)、8月11日(金・祝)、8月18日(金)、8月25日(金) 各日午後6時〜 約30分間
*各回定員15名 *無料(要入館料)

次回展示会のご案内

杉本博司 本歌取り 東下り
2023年9月16日(土)〜11月12日(日)



11



渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14
TEL 03-3465-9421
<https://shoto-museum.jp>

アクセス：
京王井の頭線 神泉駅下車 徒歩5分
JR・東急電鉄・東京メトロ 渋谷駅下車 徒歩15分